



**4月から当地ナンバープレートを交付！**  
**恐竜型ナンバープレート**  
**希望ナンバー募集（初回限定）**

市が交付する原動機付自転車（総排気量50cc以下）の白ナンバープレートを、4月から恐竜型ナンバープレートに変更します。これを記念して、希望ナンバーの募集を行います。（初回限定）  
 ④ 税務課（市役所1階）  
 ☎88・8101

対象車種、番号および範囲▶原動機付自転車（総排気量50cc以下）、「勝山市か1001」～「勝山市か2858」  
 ※下3桁に「4」「9」を含む番号は応募できません  
 応募要件▶4月2日（月）～6月29日（金）に原動機付自転車を登録（新規・交換）できること  
 応募方法▶往復はがきに応募者の氏名、住所、生年月日、電話番号、希望する番号（4桁）を明記し、下記までご応募ください  
 ※応募は1人1通のみで、1ナンバーのみ  
 〒911-8501 勝山市元町1丁目1番1号  
 勝山市企画財政部税務課資産税グループ  
 応募締切▶3月19日（月）正午必着  
 当選・落選の結果▶3月21日（水）に抽選後、往復はがきの返信でお知らせします  
 交付期間▶4月2日（月）～6月29日（金）午後5時15分  
 ※期間を過ぎた場合は、キャンセルとみなします  
 その他▶応募内容等に誤りがある場合は無効となる場合があります。また、当選した番号の権利を他人に譲渡することはできません  
 標識交付式▶4月2日（月）午前8時30分～  
 ※参加希望者の中から、抽選で3名に交付します（記念品付き）

**歴史の散歩道**  
 (136)

**京都の竹田・芹河（芹川）と  
 白山平泉寺長吏**

文永十年（一一七三）六月一日付の「寄進 三聖寺竹田・芹河散在没官領地頭職事」という文書には、「右、田地者、為平泉寺長吏下人跡、自故最明寺殿相伝領承、敢無相違地也」とある。  
 「平泉寺長吏下人跡」とあるが、白山平泉寺僧の最高の地位である長吏が、竹田・芹河（芹川）庄の地に所領を持っていたことを、筆者は疑問に思った。下人とは、平泉寺長吏に隷属して、耕作・雑役などに使われた身分の者である。「尊卑分脈」によると、この時代に白山平泉寺長吏になった人物は、鎮守府將軍の藤原利任の系譜に属し、越前国惣追捕使為頼の孫にあたる賢嚴、そして河合斎藤の始祖である助宗の孫にあたる広命、曾孫の斉命（最明）、さらに実暹である。

この系譜に繋がる人物は、河合庄や藤島庄に居住する在地領主であると同時に、京都では院の御所の武者所に詰めた武士で、弓馬の道に通じていた。ちなみに、武者所とは上皇が政治をする御所を警備する所で、そこに詰めた武士の家柄は京都から地方に下り、定住した下級貴族の子孫であった。  
 竹田・芹河（芹川）庄に散在する平泉寺長吏下人跡とされる田地の面積は九反（九アール）で、さほど広いとは言えないが、長吏が京都で活動する拠点とするには、十分の広さである。この下人は、田畑を耕作し、長吏の世話をしたのであろう。  
 久安三年（一一四七）には、平泉寺の白山社の長吏職をめぐって、延暦寺と園城寺との間に争いがあつた。このとき、平泉寺長吏は京都に滞在したのであろう。なお、「宇治拾遺物語」の「随求陀羅尼、額に籠むる法師の事」の話に登場する法師は白山の山伏であるが、筆者は白山平泉寺法師のように思う。

この系譜に繋がる人物は、河合庄や藤島庄に居住する在地領主であると同時に、京都では院の御所の武者所に詰めた武士で、弓馬の道に通じていた。ちなみに、武者所とは上皇が政治をする御所を警備する所で、そこに詰めた武士の家柄は京都から



「竹田・芹河」は、現在の京都市伏見区下鳥羽芹川町付近である

**「故加藤直子絵画展“ふるさとの風景”**

とき▶2月24日（金）～26日（日）  
 午前9時～午後8時  
 ところ▶市民会館 ホワイエ  
 展示品▶勝山市に寄贈された勝山の風景画等



「勝山橋を望む」

勝山左義長まつりにお越しの際は、こちらの作品展にもお立ち寄りください

**「中村秀蔵・厚子 写真陶芸二人展」**

とき▶2月24日（金）～26日（日）  
 午前9時～午後8時  
 ところ▶ゆめおーれ勝山  
 展示品▶世界遺産および勝山の風景写真、短歌、陶芸作品



中村秀蔵さんの作品  
 2011ふるさと大賞作品  
 「雪割りて」

**市長となんでも語ろう会**

市民の皆さまからの多くのご意見をお待ちしています。

とき **2月28日(火) 午後7時～**

ところ **教育会館 ホール**

テーマ

- ・第20回環境自治体会議かつやま会議
- ・東日本大震災の復興支援

当日はチャイルドルームを設置します（無料）

④ 未来創造課（市役所2階）☎88-1115

**こども図書**

「いじめと戦おう!」  
 玉間 伸啓/著  
 小学館

いじめに負けない5つの方法や、気持ちを切りかえるアドバイス、シカトされたときの作戦、物をぬすまれたり、かくされたりしたときの考え方などを紹介。いじめられている友だちを助ける方法も教えます。

「奇跡の一本松 大津波をのりこえて」  
 なかだ えり/絵・文  
 汐文社

2011年3月11日。津波に襲われた岩手県陸前高田市で7万本の松が流されたなか、たった1本残った松。今も人々を励ましている「奇跡の一本松」が、歴史や復興を語る絵本。

**おすすめ図書**

**中高生図書**

「友達がいないということ」  
 小谷野 敦/著  
 筑摩書房

友達がいないということは、「もてない」よりも場合によってはつらいことだ。多くの文学作品をはじめ、さまざまな視点からネット時代の友達論を説く。

「くちびるに歌を」  
 中田 永一/著  
 小学館

中学合唱部顧問の松山先生が産休のため、元神童の美しすぎる臨時教員・柏木に期限付きで指導を依頼。すると、柏木目当てに男子が多数入部する。練習に打込まない男子部員と女子部員の対立が激化して…。

**一般図書**

「就活生の親が今、知っておくべきこと」  
 麓 幸子/著  
 日本経済新聞出版社

就活生の親として内定まで444日を過ごした著者が、これだけは知っておきたいこと、子どもとのかかり方など、就職大困難時代の乗り切り方を伝える。「日本経済新聞」電子版の連載に加筆し書籍化。

「日本一社員がしあわせな会社のヘンな“きまり”」  
 山田 昭男/著  
 ぱる出版

報連相禁止、休日数日本一、70歳定年…。赤字なし、高い経常利益率で成長してきた未来工業の創業者が、いかによそと差別化することに徹してきたか、その工夫を綴る。